



ほけんだより

令和3年7月7日
港区立御田小学校
校長 小林 功明
主任養護教諭 水口麻衣子

7月になり、1学期の締めくくりの時期となりました。

梅雨のため雨の日が多く、体調不良を訴える児童も見られます。

先月、東京都は緊急事態宣言を解除し、まん延防止等重点措置としました。しかし、再び東京都の新型コロナウイルス感染症新規感染者数が増加傾向にあります。引き続き、感染予防に力を入れ、登校前には、発熱していないか、食欲はあるか、咳はでていないかなど、必ず、健康観察をお願いいたします。健康観察の結果、体調が優れない場合は、ご家庭での休養をお願いいたします。

また、児童やご家族の方が新型コロナウイルス感染症についてPCR検査を受けた場合は、学校までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

今月の保健目標「夏を元気にすごそう」

7月は熱中症予防月間です。

昨年、熱中症で救急搬送された方が1番多い月は8月ですが、2番目に多い月は7月です。これは、梅雨が明け、急激に暑くなったことが関係すると考えられています。

子どもは大人に比べて体温調節（発汗）が未発達のため、汗がうまくかけません。また、背も低いため、道路のアスファルトにはね返った太陽の熱の影響を受けやすく、熱中症になりやすいそうです。

これからの夏本番に備え、熱中症の予防が大切になります。

本校でも、熱中症の保健指導を行い、熱中症予防を呼び掛けていきます。



学校保健委員会について

9月30日（木）に予定しておりました学校保健委員会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、紙面開催とさせていただきます。学校医の先生方が来校しての学校保健委員会は行いません。

今年度も6年生児童からの質問と学校医の先生方のご回答を、「ほけんだより－学校保健委員会号－」にまとめ、11月頃に家庭に配布しますので、ご覧ください。



アタマジラミについて

アタマジラミは、体長3mm程で、白っぽい灰色をしています。頭や耳の後ろに寄生し、髪の毛の根元に卵を産み、頭皮から吸血します。吸血されると頭がとてめにかゆくなります。アタマジラミは一年を通して発生し、不潔・不衛生とは関係なく、誰にでも発生の可能性があります。目視で確認できるので、髪の毛の根元に卵や抜け殻がないか、定期的に確認をお願いします。アタマジラミが見つかった場合は、皮膚科を受診されることをお勧めいたします。

また、アタマジラミの発生は、港区教育委員会に報告するため、学校までご連絡をお願いいたします。

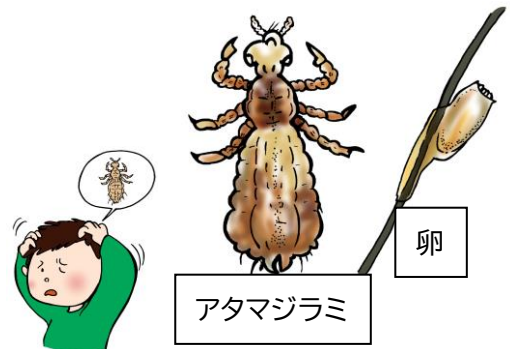
東京都福祉保健局から家庭で行うアタマジラミ対策のリーフレットが発行されています。インターネットで確認することができますので、よろしければご覧ください。

東京都福祉保健局 アタマジラミ対策パンフレット等

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kankyo/eisei/yomimono/nezukon/atamajirami.html>

<確認ポイント>

- ・頻繁に洗髪しているのに頭をよく掻いている。
- ・髪の毛に0.5mmくらいの白いものがついてる。
- ・頭に2mmくらいの小さな生き物がいる。



<アタマジラミ>

成虫は羽がないので、跳ぶことも跳ねることもありません。人の体から離れると、7～72時間程度しか生きられません。

卵は髪にしっかり固着しています。ヘアーキャストや皮膚などと間違いやすいですが、これらは簡単に取り除けるので、卵と区別することができます。卵は、耳の周囲からえりあしにかけて多く付着しています。

<アタマジラミが人に寄生する経路>

頭や身の回りの物から、他の人の頭にアタマジラミが移動することにより、寄生が起こります。知らず知らずのうちに、寄生していることがありますので、定期的な頭髪の確認が大切です。また、頭と頭の接触やタオルや帽子などの身の回りのものを共用しないようにすることで予防になります。



お子さんの頭髪を確認していただき、ご心配なことがありましたら、学校までご連絡いただければ、保健室でも対応いたします。

